

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。



あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

それは、このひとたちが
こころに はげましを うけ、
あいによって むすびあわされ、
りかいを もって ゆたかな
まったき かくしんに たっし、
かみのおくぎである キリストを
しんに するようになるためです。

この キリストのうちに、
ちえと ちしきとの たからが
すべて かくされているのです。



かみさまが くださる ちえと ちからを もって このよを いかす
ゆめと ビジョンを もちましょう。そして その ゆめに まいにち
いのりで いっぽずつ ちかづいて いきましょう。 れいはい みことば
いのりで しょうりする かみさまが くださる ゆめを なしとげる
サミットに なることが できます。 したの あいている ところに
つぎの ページから えを みつけて きりにとって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ





みことば
ちゅうしん

れいはい
ちゅうしん

でんどう
でし

ぎのう
サミット

けいやくの
いのり

★ はーい！
わたしです！ ★

かくしんの ないようを こころに きざみましょう

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの あいている ぶぶんに ふさわしい ことばを
かきましょう。



の おくぎである

キリストの うちには、 と どの
 が すべて かくされているからです。

キリストの なかで、かみさまが わたしに
くださる を にぎって いのりましょう。

の みなによって

なら、

かならず くださいます。

かみさま ちえ ちしき たから みことば イエス・キリスト いのる こたえて

さがして いろをぬろう

どこ？

かくれている えを みつけたら きれいに いろを
ぬったり しましょう

このよの ひとたちは じぶんの りえきと よくの ために あらそって
むなしい せいこうを もとめます。しかし ふくいんを もった
レムナントは しんじていない ともだちの たましいの すくいの
ために いのって せかいふくいんかの けいやくを むねに いただいて
ほうこうを そこに あわせましょう。 したの てんせんを つないで
でてくる もじに いろを ぬりましょう



じゅんぴするもの | いろをぬるようぐ

REMNANT



パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

かみさまは ちじょうに あるものを おもうのではなく てんに ある
ものを おもいなさいと いわれました。ちじょうに あるものは
なんで てんに あるものは 为什么呢。わたしが すきな
ことは どこに ぞくしていますか。パパとママと いっしょに
おはなしをして かみさまが くださる うえから おりてくる
しゅくふくを じか えで ひょうげんしてみましょう。



たのしい ワークをして いっしょうかんの みことばを
ところに きざみましょう



ノアが いきていた じだいにも このよの ひとびとは じぶんの
にくと たのしみに おちいって さいごまで つみを おかして いきて
いて、 けっきょく かみさまの さばきで すべてが ほろぼされました。
しかし ノアは ただ てんの きぼうを もって すくいのはこぶねを
つくりました。 わたしたちも けいやくの なかで ゆれないようにと
いのりながら したの ワークを しましょう。

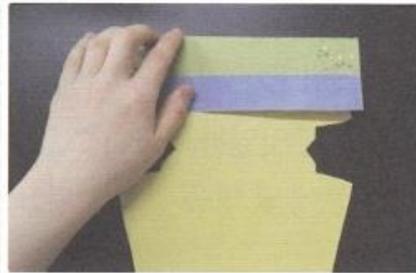
じゅんぴするもの | はさみ、のり、じをかくもの、つぎのページ



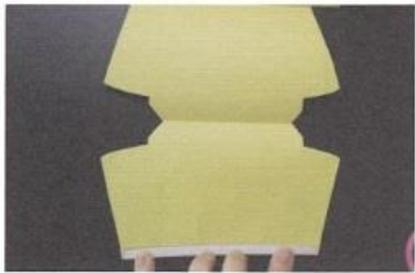
すくいのはこぶねをつくらう！



つぎのページの えを きりぬきます



てんせんに そって おります



のりづけの ぶぶんを うえのように
おります



はこぶねの やねの ぶぶんを
はんぶんにおって のりづけに
のりを ぬります



うえのように はります



すきな みことばを かくか
かぞくの しゃしんを はりましょう



のりをつける ぶぶん

